



土川 博 議員

## 山麓一帯の治山治水対策は



ゲリラ雨による山麓地帯での土砂流出

山麓地帯は、ゲリラ豪雨により土砂流出の頻度が増し、その度に被害を被っている。更に山麓は大小の谷を抱えているので、一度大雨が降れば一気に杭瀬川に土砂と共に流れ込み、その被害は増大する。山麓地帯から上部の対策をとれば、下流域での水害が防げると思うが。

町長

一昨年の災害については、平成22年度までの三年間で、総額12億円あまりの工事費で災害復旧している。他の被災箇所も把握しているので、国



萩ヶ谷での治山谷止工

池田山には数々の作業道や林道が走っているが、大雨が降ると川のようになり、被害を大きくしている。また過去の大雨により崩壊している箇所今後の対策は。

に要望するなか、段階的に砂防堰堤や保安林関係の堰堤を造っていきたい。また平成19年度に地域防災対策総合治山事業計画を立てており、平成20年度萩ヶ谷地区、平成21・22年度願成寺地区、平成22年度要望としては、宮地地区で、23年度で舟子・願成寺地区で治山事業を予定している。

町長

現状は把握しているが、作業道は、林業関係を目的としてつくられたものであり、恒久的な構造物は造れないが、林道とともに、これ以上被害が拡大しないような対策をとる、災害の起きないような工事も検討し、効率的な整備をしていきたい。

大雨が降ると瞬く間に河川がオーバーフローしてしまうことへの対策は。

町長

過去に色々検討したが、費用や水利権の問題もあり非常に難しい問題だ。東川や杭瀬川の合流点において土砂浚渫等を含め水の流れを速くすることなど、できることから



大勢の花見客で賑わう大津谷公園

治山治水にとどまらず、地域活性化や観光面を考慮した考えはあるか。

町長

ふれあい街道沿いには、池田温泉、公園、極小美術館、お茶、梅等、観光資源は十分

にあるので、山麓一帯を総合的に関連づけて取り組んでいくことにより、大きな宣伝効果となるので、今後進めていきたい。



天神山林道の被災状況